

第1回 保育現場の働き方改革研究会 論点整理表(まとめ)

H30.6.25現在

大項目	小項目	現状・課題	保育現場独自の原因
1.人材確保	①職員採用	<ul style="list-style-type: none"> 必要な職員の絶対数が確保できない 求人申込みが少なく欲しい人材が選べない 再就職の場合、正規採用が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> きつい、給料が安い、帰れないというマイナスイメージが定着している。再就職の際に他施設での経験年数を加味しづらい いてほしい時間帯に勤務してくれる人材がいない 子育てしながらできる仕事ではないというイメージがついている
	②育成	<ul style="list-style-type: none"> 中堅職員が育っていない 必要な知識・スキルを学ぶ機会がない 人員が少なく、園を空けられない 子育て支援員等の指導に時間をとられる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の休日や体を休める時間削ってまで、積極的に学ぶ気が残っていない
2.仕事の負担感	③長時間労働、仕事の量	<ul style="list-style-type: none"> 行事の準備 業務量に偏りがある 持ち帰り仕事がある 人員不足 	<ul style="list-style-type: none"> クラス担任制度がほとんどのため、仲間に頼りづらい 子育て支援員を雇用したいが、人件費がないため雇用が難しい
	④仕事の内容、質	<ul style="list-style-type: none"> 書類作成が多い 会議が多い 知識、技術、経験が不足 健康面、体力面で自信が持てない 責任が重い 	<ul style="list-style-type: none"> 幼い子どもの命を預かっているという責任の重さ。アレルギーや発達障害などの増加
	⑤休暇・休憩	<ul style="list-style-type: none"> 有給休暇が取れない 休憩時間が取れない 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係を意識して、お互いに遠慮し合う文化がある。子どもの特性上イレギュラーなことが頻繁に起こる
3.賃金・処遇	⑥給与	<ul style="list-style-type: none"> 給料が勤務の専門性や複雑さ、責任に見合わない 勤務時間の長さに見合わない 通勤手当、時間外手当が出ない 	<ul style="list-style-type: none"> その年度の子どもの年齢や人数によって、給付費が大きく変動するため、ベースアップしづらい
	⑦処遇	<ul style="list-style-type: none"> 処遇改善加算が平等に配分されていない 正社員化、キャリアアップがみえない 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係悪化を怖がり、平等な処遇を重視する傾向にある
4.人間関係	⑧職場の人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 職場内、職場以外で気軽に相談できない 	<ul style="list-style-type: none"> 担当クラスが違うと話す機会がない
	⑨保護者との関係	<ul style="list-style-type: none"> 保護者対応での悩み 保育士への社会的評価が得られていない 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが保育の受給者であるにも関わらず、その評価者は保護者や地域住民。必ずしも評価者と受給者の満足度がイコールではない
5.働き方改革の取組	⑩施設側	<ul style="list-style-type: none"> 忙しくて手が回らない どのような方法があるか分からない 園長等管理職が意識が低い 	<ul style="list-style-type: none"> 強い意志を持って取り組まなければ、変化を望まない職員から反対されて終わる 育児短時間勤務や各種補助金などの制度を知らない 相談できる場所を知らない
	⑪保育士	<ul style="list-style-type: none"> 忙しくて手が回らない どのような方法があるか分からない 従来のやり方を変えることに抵抗がある 	<ul style="list-style-type: none"> 変化を拒否する傾向にある 働き方改革の言葉は抽象的であり、人によって言葉の認識にずれがある
	⑫保護者、地域住民	<ul style="list-style-type: none"> 現場の勤務実態などの理解が進んでいない 連絡帳のIT化などの理解を得にくい 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な思いを抱える保護者や地域に対して、正確に伝えるのが困難 IT化は、先生が楽をしようとしていると保護者から誤解される 保護者や地域住民に対する啓発や広報が不足している